

2020年1月30日日中関係学会 新春講演会・賀詞交換会

1月30日午後6時から、神田学士会館において、恒例の日中関係学会新春講演会と賀詞交換会が行われました。新春講演会では、宮本雄二会長より「激動の世界と日本」と題して約一時間、「変革の中にある世界と日中関係のあり方」について日中関係を考える「指南」となるべき貴重なお話を伺いました。そのあと30分、都内在住の二胡演奏家・羅紅さんから、「草原情歌」を含む5曲の心に響く二胡の音色を演奏頂いた後、賀詞交歓会では全員が新しい年を祝ってビールで乾杯し、愉しく意見交流を行いました。参加者は、会員非会員併せて110名と盛況でした。

【新春講演会宮本会長講演概要】 演題「激動の世界と日中関係」

「いま世界は大きな変革期にある。その背景には超大国米国の相対的な国力低下と新しい大国中国の台頭がある。しかし、米ソに替わる米中の対立の変化の過程でも、経済におけるグローバリズムと、「自由」「民主」という理念のもとでの国際連合と国連憲章の存在意義は変わっていない。日本は、平和で安定した日中の協力関係を築くことで米中の衝突を避ける積極外交を展開すべきであろう。また、新型コロナウイルス問題のような国境を超える課題も多く出てきており、新時代の新たな日中の“国民同士の関係”を築く必要が迫られている」（別途詳しい講演内容をHPに掲載の予定です）



【羅紅さん二胡演奏曲目】

- ① 良宵 (リン・シャン) (劉天華作曲)
- ② 空山鳥語 (コン・シャン・ニャオ・エイ) (劉天華作曲)
- ③ 秦腔 (シ・コウ) 主題随想曲 (超震宵・魯日融編曲)
- ④ 草原情歌 (カザフ民謡、王洛賓編曲)
- ⑤ 賽馬 (サイ・マー) (モンゴル民間音楽、黄海懷作曲)

以上

